

第3回 京田辺市産業振興ビジョン推進委員会商業・観光部会議事要点

日時 平成27年7月13日（月）13時30分～16時00分

場所 京田辺市庁舎3階305会議室

1. 冒頭

- ・今まで皆様にご議論いただいたものをまとめて、8月上旬の全体会議にあげていくための意見の確認と、付け加えるものがあれば最終的に案を作ることが本日の作業手順となる。前回同様、皆様からの活発な意見をいただきながら、夢のあるビジョン、市民の方々に興味を持っていただけるものを作りたい。

2. 観光について

- ・前は、重点施策[魅力ある観光地づくり][交流人口の増加][消費拡大による地域活性化]の3つの分類分けであった。今回は[交流人口の増加]について、受け入れ側である市民への周知という[担い手の育成]と、外から来ていただく[交流人口の増加]部分は分けて考えたほうがよいということで4つに広げている。
- ・消費拡大は、あまりにも露骨すぎるかもしれないので、“京田辺は金儲けのための観光を考えているのか”と言われてしまう。経済の活性化など他の言葉に変えたほうがよい。
- ・古墳群、明治の文化遺産であるトンネルや、天井川、澤井家住宅は、暮らしていく中から工夫された文化遺産である。澤井家住宅は、国の重要指定文化財になるほどの民家である。それらも観光ビジョンの中に付け加えていけばよいと思う。
- ・取組みの中で、製品に結び付け売り上げに繋げようという形が強い。本来の観光はサービス業であり、居心地がよいとか安らぎがあるというサービスの提供を、どのようにこの中に入れていくか。サービス業の観点からの取組みもいる。
- ・詰め込みすぎると特徴のない総花的なものになるので、京田辺市らしいメリハリをつける。重点的にいくつか特徴ある施策を強調する形にするというのも一つの手である。
- ・担い手のところで、組織づくりが必要であるが、全体としてまとめるところをどこにするか。観光協会が中心になるか。行政とどう連携するのか。ボランティアを紹介したり、全体をコーディネートする窓口は観光協会でよいか。市から離れたのはいいことだが、コーディネートする役割を書き込んでいかなければ、知っている人だけが利用する従来型になってしまう。
- ・5年計画なので、緊急度や主体等を示してメリハリのある計画にした方がよい。
- ・取組みの中で、今まであったものを充実させることと、新たに取り組むものという考え方で分けしてもよいのではないかと。今まであったものの充実とは別に、ツアーオブジャパンのように新しいものを将来にどう継続していくか。
- ・京田辺市＝一休さん・とんちも第一だが、竹取物語・かぐや姫もドッキングした方がいい。古代から掘り起こしていけば、今の歴史的な文化財に繋がってくる。

3. 商業について

- ・ 前回は、[高齢化社会に対応する買い物環境の整備][商業担い手の支援と育成][魅力ある店舗づくり]の3つの大きな柱で議論した。市の総合計画や都市計画マスタープランでは[地域の個性を活かした商業地の形成]を進めることが掲げられているため、4つ目の柱として加えた。
- ・ コミュニティビジネスはなかなか育たない。フリーマーケットや市を作ったほうがいい。産業祭のようなフリーマーケットを定期化していくとよい。
- ・ 商業の活性化による市民サービスの向上という視点が弱いと思う。「魅力的な商業施設」の魅力的という言葉は、商品が魅力的でもあるし、買い物に行きやすいという意味も含めたほうがいい。
- ・ 「魅力ある店舗づくり」というと、個々の店舗を作る感じがするので、商店街全体として魅力あるという意味が伝わるようにしたい。
- ・ 成功しているところは、商店街としての危機意識と、連帯感・一体感が非常に強い。消費者は、安くて便利な大型店に魅力を感じている。その中で商店街に来てもらうには、便利さ以外をPRする必要がある。商店街全体が連帯感を持った仕組みを作らなければならない。
- ・ 客層に対しての戦略が必要であろう。代替わりをしても、新しいお店が入ってくるのはある意味活性化していると言える。空き店舗が出るのが一番大きな問題。
- ・ インキュベーションを作らなければならない。大学は **D-Egg** で企業と技術開発をしている。地域密着型の商品開発をする協力体制を作らなくてはならない。
- ・ 一番よいのは、商店街の中に公共施設のひとつを持つてくること。市役所の市民サービス部門に加え、文化施設などを作っていけば、周辺地域と連携が生まれ人が集まり、憩いの場が出来る。市役所は公共交通機関では行きにくいので高齢化に対応するということにもなる。
- ・ 産官民との連携によるまちづくり。「地域の個性を活かした商業地の形成」の中に、関係部署との連携だけでなく、民間との連携も入れていけばよい。